古墳供養塔（深谷市）

ここは八坂神社

何ともみすぼらしい神社である/左は調査隊の第二クルーザー

その左手に目当てのものはあった

正面が古墳供養塔

昭和初期にこの地域を開墾した折に、数ある古墳も削平せざるを得なかったことを供養して、この石碑を立てたようだ

斜面には「百庚申」があった

百庚申（ひやくこうしん）

百庚申は、岡の坂下への降り口、旧中山道に沿う坂道に建てられている。

百庚申が建立されたのは幕末、万延（まんえん）元年の庚申の年（一八六〇）で、岡の有志十三人により計画され、翌年の万延二年にかけて完成を見た。

このことは、庚申塔群の中に大形の板石に庚申と記した庚申塔があり、その裏面に刻まれている文字によりうかがいしることができる。これによれば、百庚申造立の中心人物は、「田島新兵衛、田島喜蔵、田島直右衛門、田島武左衛門、田島利三郎、坂爪治兵衛、小暮弥一右衛門、小暮半次郎、小林常七、小林□（不明）兵衛、柳田熊次郎、山口竹次郎、発起人中野屋宗助。」という人々であったことがわかる。

もともと、この場所には、享保元（一七一六）年に造立された庚申塔があって、二十二夜待塔（にじゅうにやまちとう）、馬頭観音（ばとう）の石碑も立っていた。

万延元年は、徳川幕府の大老井伊直弼（たいろういいなおすけ）が江戸城の桜田門外において水戸浪士達により、暗殺されるという大きな事件があったり、黒船来航により永い鎖国の夢をやぶられた日本の国情は騒然としたもので、民衆の生活も不安なものであった。このような状況にあって神仏に頼ろうという心理と、万延元年（庚申の年）がかさなり百庚申が造立されたと言えよう。

平成三年三月

埼玉県
岡部町

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/SAITAMA/okabe/kuyoto.html

http://members3.jcom.home.ne.jp/kofun2-hp/saifuokab.htm

http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=58

地図
鵜森
西五十子
東五十子
堀田
滝瀬
町田
上手計
血洗島
川端
四拾坂下
小山川
岡東
矢島
新岡部変電所
中山道
おかべ
駅入口
深谷バイパス
大塚島
榛沢
西田
岡
普済寺
児玉
榛沢
深谷市
沓掛
ヤオコー
岡里
大里濱物
福川
榛沢新
岡部局
りそな
岡部
JA
普済寺
900 m
(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN
利用規約 (C)Yahoo Japan